



2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月15日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3134 URL <https://hamee.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・財務部マネージャー (氏名) 櫻井 達也 (TEL) 0465-42-9181
 四半期報告書提出予定日 2021年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(2021年4月1日に当社ウェブサイト
<https://hamee.co.jp/ir/library/video>)にて決算説明の動画を掲載することを予定しております。)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績(2020年5月1日~2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	9,055	4.6	1,654	21.6	1,610	17.3	1,145	21.8
2020年4月期第3四半期	8,660	13.0	1,360	54.2	1,373	55.9	940	48.9

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 1,291百万円(43.9%) 2020年4月期第3四半期 897百万円(45.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	72.45	71.84
2020年4月期第3四半期	59.27	58.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	9,561	6,032	62.0
2020年4月期	8,096	4,824	57.9

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 5,926百万円 2020年4月期 4,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年4月期	—	0.00	—		
2021年4月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,832	13.3	1,778	1.9	1,764	0.4	1,260	17.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期3Q	16,214,400株	2020年4月期	16,135,600株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	377,523株	2020年4月期	343,925株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期3Q	15,808,571株	2020年4月期3Q	15,860,809株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言が発令され、社会・経済活動が急速に停滞し、厳しい状況となりました。段階的な経済活動の再開があったものの、緊急事態宣言の再発令などにより新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、国内外ともに経済の下振れリスクを内包した状況で推移しました。

このような経営環境のもと、プラットフォーム事業におきましては、引き続き消費者の行動変容の影響によりEC市場が伸びたことに伴い、ネクストエンジンの収益は大きく拡大しました。コマース事業におきましても、販売チャネルにおいて小売（EC）、卸のバランスが取れていることから、引き続き消費者の購入経路の変化を上手くとらえ、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,055,834千円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は1,654,761千円(同21.6%増)、経常利益は1,610,454千円(同17.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,145,286千円(同21.8%増)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

① コマース事業

国内におきましては、新型iPhoneの発売時期が10月、11月となったこと、新型iPhone関連商品が好調に推移したことに加え、iFaceシリーズにおける主力商品である「First Class」と「Reflection」が引き続き堅調に推移しました。国内卸販売につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う消費者の外出自粛はあるものの、感染防止策とのバランスを取りながら経済活動が再開され、少しずつ回復へと向かっていましたが、2021年1月の緊急事態宣言再発令の後には受注が減速したことにより、再び減収基調となりました。一方、国内小売につきましては、iFaceシリーズがユーザーから根強い支持を受ける強固なブランドとして確立するべく継続的に取り組んだ結果、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2020」スマートフォン・タブレット・周辺機器ジャンル大賞 ダブルイヤー賞を受賞しました。また、ユーザーとの継続的な接点確保、顧客満足度向上等を目指し、iFaceアプリをリリースしました。アプリ限定コンテンツの配信、新サービス展開等、コマース事業のDXを推進していきます。

海外市場について、米国においては同感染症の影響により、国内同様に引き続き小売が好調に推移し、前年同四半期を上回る結果となりました。また、Hamee Global Inc.を中心にサプライチェーンの改善に取り組みました。更に、当社オリジナル商品の企画、開発、製造を行い、日本市場を含め全世界に商品の供給を行っているHamee Global Inc.が、グローバル戦略に基づき、より一層商品開発、製造機能を高めるため、中国に子会社（当社の孫会社）を設立しました。なお、上記に伴い当社の100%子会社であるHamee Shanghi Trade Co., Ltdの機能は当該法人に移行し、清算する予定です。

以上の結果、コマース事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は7,095,257千円(前年同四半期比0.3%増)、比較的利益率の高い小売販売が伸びたこと、またHamee Global Inc.によるサプライチェーン改善が進んだことにより、セグメント利益(営業利益)は1,875,624千円(同12.6%増)となりました。

② プラットフォーム事業

当第3四半期は、季節的なトレンド（クリスマスや年末年始等）としての伸びに加え、前述のコマース事業における国内小売と同様、拡大するEC市場の影響を受け、ネクストエンジンのGMV(受注処理金額) 通期見通しは約1兆円が見込まれる等大きく増加しており、それに伴い受注処理件数の通期見通しも1億件を超過し、当該トランザクションに紐づく従量課金制としているネクストエンジンの売上も好調に推移しました。また、カスタマーサクセス活動の強化により新規契約獲得が進み、解約率も低位で安定推移しております。ネクストエンジンのデータを活用したマーケティングソリューションである「manekine(マネキネ)」をリリースする等、今後もアップセル施策に注力し、継続的な収益強化に取り組んでいきます。

これらの活動の結果、総契約数は4,513社(第2四半期比162社増、自社調べ)となりました。また、高い限界利益率による利益の押し上げ効果もあり、前年同四半期比59.5%の大幅増益となりました。

なお、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社について、組織改善が進んだことによりコンサルタントの離職率が改善し、また顧客獲得率も向上しました。大口顧客の獲得もあり、前年同四半期比増収、増益と改善傾向が続いています。

これらの結果、プラットフォーム事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,690,049千円(前年同四半期比24.0%増)、セグメント利益(営業利益)は711,397千円(同71.7%増)となりました。

③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ふるさと納税支援サービス、小学生向け見守りモバイル端末「Hamic POCKET (はみつくポケット)」、エンカルネットショップ「RUKAMO」等が含まれます。

ふるさと納税支援サービスは、前年同四半期比22.5%の増収と引き続き堅調に推移しました。またHamic POCKETは2021年2月にリリースとなり、中期経営計画達成のため、収益化に向けて取り組んでいきます。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は271,299千円(前年同四半期比17.1%増)となりました。一方セグメント損益(営業損益)は、Hamic POCKET等への先行投資により174,497千円の損失(前年同四半期は90,010千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1,465,143千円増加し、9,561,669千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加等により現金及び預金が784,402千円増加、売上高の増加等により受取手形及び売掛金が277,175千円増加、立替金の増加等によりその他流動資産が346,662千円増加したこと等の結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ257,303千円増加し、3,529,464千円となりました。これは主に、未払金が264,731千円増加した一方で、未払法人税等が115,949千円減少したこと等によるものであります。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、経営の安定性を図るため、金融機関からの借入金により手元流動性を厚くしており、短期借入金は1,611,384千円となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1,207,839千円増加し、6,032,205千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,145,286千円の計上、ストックオプションの行使に伴う資本金及び資本準備金の増加各45,655千円、剰余金の配当110,541千円、自己株式の増加50,519千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年6月12日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,453,297	4,237,700
受取手形及び売掛金	1,230,062	1,507,237
商品	1,054,844	1,063,368
仕掛品	3,382	12,702
原材料及び貯蔵品	5,207	7,526
その他	523,676	870,339
貸倒引当金	△11,723	△26,120
流動資産合計	6,258,748	7,672,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	204,725	207,441
減価償却累計額	△45,517	△56,274
建物及び構築物(純額)	159,208	151,167
工具、器具及び備品	440,696	605,781
減価償却累計額	△329,805	△440,703
工具、器具及び備品(純額)	110,891	165,077
建設仮勘定	299,015	328,978
有形固定資産合計	569,114	645,223
無形固定資産		
のれん	514,544	385,061
ソフトウェア	230,164	211,593
商標権	16,577	14,706
その他	28	3,344
無形固定資産合計	761,315	614,706
投資その他の資産		
投資有価証券	15,342	18,657
関係会社株式	43,200	44,945
繰延税金資産	289,000	413,221
その他	159,803	160,643
貸倒引当金	—	△8,482
投資その他の資産合計	507,347	628,985
固定資産合計	1,837,777	1,888,915
資産合計	8,096,525	9,561,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,127	213,596
短期借入金	1,600,000	1,611,384
1年内返済予定の長期借入金	48,036	48,036
未払金	660,915	925,647
未払費用	182,402	202,663
未払法人税等	453,119	337,170
賞与引当金	2,789	35,997
返品調整引当金	6,716	7,901
ポイント引当金	2,414	2,812
その他	23,529	32,665
流動負債合計	3,146,051	3,417,876
固定負債		
長期借入金	91,889	55,862
退職給付に係る負債	9,365	38,246
その他	24,853	17,479
固定負債合計	126,108	111,588
負債合計	3,272,160	3,529,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,677	582,332
資本剰余金	456,677	521,074
利益剰余金	4,166,941	5,201,685
自己株式	△313,117	△363,636
株主資本合計	4,847,178	5,941,456
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△161,192	△14,923
その他の包括利益累計額合計	△161,192	△14,923
新株予約権	138,380	105,672
純資産合計	4,824,365	6,032,205
負債純資産合計	8,096,525	9,561,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	8,660,163	9,055,834
売上原価	3,887,041	3,444,390
売上総利益	4,773,122	5,611,443
返品調整引当金戻入額	6,807	6,716
返品調整引当金繰入額	8,154	7,901
差引売上総利益	4,771,774	5,610,259
販売費及び一般管理費	3,411,209	3,955,497
営業利益	1,360,564	1,654,761
営業外収益		
受取利息	721	635
保険返戻金	19,351	—
受取補償金	4,484	10,737
持分法による投資利益	14,458	1,176
その他	1,679	2,425
営業外収益合計	40,696	14,975
営業外費用		
支払利息	1,569	7,846
支払保証料	5,194	4,932
為替差損	16,526	36,444
その他	4,743	10,059
営業外費用合計	28,033	59,282
経常利益	1,373,227	1,610,454
特別利益		
固定資産売却益	—	379
投資有価証券売却益	—	4,999
新株予約権戻入益	2,516	1,258
特別利益合計	2,516	6,637
特別損失		
固定資産除却損	1,776	489
投資有価証券評価損	—	10,164
為替換算調整勘定取崩損	—	868
特別損失合計	1,776	11,522
税金等調整前四半期純利益	1,373,966	1,605,570
法人税、住民税及び事業税	463,350	576,855
法人税等調整額	△29,413	△116,571
法人税等合計	433,936	460,283
四半期純利益	940,029	1,145,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	940,029	1,145,286

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	940,029	1,145,286
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△42,622	146,269
その他の包括利益合計	△42,622	146,269
四半期包括利益	897,407	1,291,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,407	1,291,555
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,072,321	1,356,122	8,428,444	231,718	8,660,163	—	8,660,163
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	6,849	6,849	—	6,849	△6,849	—
計	7,072,321	1,362,972	8,435,294	231,718	8,667,012	△6,849	8,660,163
セグメント利益又は損失(△)	1,665,486	414,384	2,079,870	△90,010	1,989,860	△629,295	1,360,564

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△629,295千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(注)4 「企業結合等関係」の「比較情報における取得原価の当社配分額の重要な見直し」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,095,257	1,689,277	8,784,534	271,299	9,055,834	—	9,055,834
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	771	771	—	771	△771	—
計	7,095,257	1,690,049	8,785,306	271,299	9,056,606	△771	9,055,834
セグメント利益又は損失(△)	1,875,624	711,397	2,587,021	△174,497	2,412,523	△757,762	1,654,761

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、小学生向け見守りモバイル端末「Hamic POCKET (はみっくポケット)」、エシカルネットショップ「RUKAMO」等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△757,762千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2019年10月1日に行われた当社の連結子会社であるHamee Korea Co.,Ltd.(現 Hamee Global Inc.)によるJEI DESIGN WORKS Inc.からの事業譲受について、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額370,000千円は、会計処理の確定により414,450千円となっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が23,115千円、法人税等合計が5,085千円、四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が18,029千円、それぞれ減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。